

## 第26回東北中学生空手道選手権大会実施要項

(公財) 全日本空手道連盟東北地区協議会

- 1 大会名 第26回東北中学生空手道選手権大会  
 2 主催 (公財) 全日本空手道連盟東北地区協議会  
 3 主管 青森県空手道連盟  
 4 後援 [予定]～ (公財) 全日本空手道連盟・青森県・青森県教育委員会  
 (公財) 青森県スポーツ協会  
 5 場所 三沢市武道館  
 〒033-0001 青森県三沢市中央町 1 丁目 4-20  
 TEL:0176-57-0050(FAX 兼用 )  
 6 大会日程 令和7年 5月11日(日) 8:00～17:30

8:00	開場
8:20	審判・監督会議
8:50	開会式
9:10	競技開始(形競技～組手競技)
12:00	昼食
15:50	競技終了
16:00	閉会式
16:30	終了

- 7 種目 中学生1～3年生男子・女子の形競技、組手競技(個人戦・団体戦)  
 8 参加種目 同一選手が形と組手の両種目に重複し出場しても良い。

種目	組手競技					形競技				
選手	男子	1年	2年	3年	団体	男子	1年	2年	3年	団体
	女子	1年	2年	3年	団体	女子	1年	2年	3年	団体
監督	監督は支部毎に2名以内但し複数の中学の監督を兼任出来る									
コーチ	無し									

- 9 競技規定
- (1) 競技は、(公財)全日本空手道連盟(以下、「全空連」と略記する)制定の「空手競技規定(令和6年4月1日改訂)」により実施する他、全国中学校空手道連盟申し合わせ事項による。また、競技の実施と運行の詳細は、当日審判長から通告する。
  - (2) 形競技個人戦(登録された選手の変更は認めない)
    - (ア) 決勝までトーナメント方式とし勝敗は審判員5名の赤・青旗のフラック制で多数決により決定する。2名同時に対戦するが、決勝戦に限り1名ずつ演武して勝敗を決する。
    - (イ) 1・2回戦は第1指定形、3・4回戦は第2指定形、5回戦以降は得意形を演武する。ただし、参加人数により第1、第2指定形の回戦変更もあり得る。(抽選会後に変更が生じた場合、各県へ連絡を入れます)
    - (ウ) 団体戦は準決勝までを指定形、決勝戦は得意形とする。
  - (3) 組手競技個人戦・団体戦(登録された選手の変更は認めない)
    - (ア) トーナメント方式で行い、3位決定戦は行わない。団体戦では初戦のみ全試合行う。
    - (イ) 競技時間は1分30秒フルタイムとする。但し、参加人数と競技日程の関係で変更(短縮)せざるを得ない場合も想定されるので、その際は審判長から通告する。
    - (ウ) 勝敗は、競技時間内に6ポイント差、又は競技終了時に得点の多い方の選手を勝ちとする。但し、先取の無い同点、同じポイント技又は無得点の場合は判定により勝敗を決す

る。

- ※ 個人戦・団体戦ともに道場毎にエントリーして組合せを行う。  
団体チームは同一中学校若しくは道場とする。

#### (4) 安全具

- (7) 組手出場選手は、「全空連」検定（以下同じ）の安全具を必ず着用する。  
安全具は、（公財）全日本空手道連盟検定の拳サポーター（赤・青）、ボディプロテクター、ニューメンホー（Ⅶ）、シンガード・インステップガード、男子はファールカップを着装すること。  
シンガード・インステップガードは白色の物で、（公財）全日本空手道連盟検定のミズノ（株）、（株）東海堂、（株）ヒロタ、（株）守礼堂、（株）ミツボシ(HAYATE)の各社製とする。ただし、高体連用のインステップガード新製品（全空連マークと高体連マークの両方が入っている 2022 年新製品）は使用可とする。
- (4) 全選手のマウスピース着装は任意とする。
- (7) 所定の安全具着装のない選手は、失格となる。

#### (5) 服 装

- (7) 監督・コーチの服装については、以下の通りとする。
  - ・ダークスーツ又はジャケット・ブレザーの着用、全空連のエンブレムは不可
  - ・スラックスは、紺又はグレー系
  - ・ネクタイは全空連指定（審判用）は不可、紺・グレー系で派手な色合いは避ける。又はニュータイプ紺地柄（役員・監督用）のJKFネクタイを着用してください。
  - ・ワイシャツは白色
  - ・シューズは、派手な色合いは禁止とする（サンダルは禁止とする）
- ※全空連エンブレム、ネクタイについては、審判員と同じ服装を避けるため
- ※女性はスラックスまたはスカートでもよく、ネクタイを着用してもしなくてもよい
- ※ウエストポーチ等の携帯は控える事。
- (4) 金属やプラスチックなどのヘアバンドやヘアピンの他、競技の安全を欠くと思われる物品の装着は禁止する。
- (7) 選手は、青帯・赤帯を各自用意し着用する。主催者側では準備しない。
- (5) 選手の胸マークは道場名・中学校名又は県名であること。袖の県名表示等は原則として規制しない。流派、会派、各道場名他マーク等は認めない。
- (4) 監督・選手の過度な染髪（部分染も含む）、ピアス、過度の道着の変形等競技者としてふさわしくないと判断された場合、出場を認めない。

### 10 表 彰

- (1) 優勝者、準優勝者、第3位まで副賞を添えて賞状を授与し、ベスト8入賞者（個人）には優秀選手賞を授与する。
- (2) 入賞者の表彰は、競技の終了した種目から順次行う。
- (3) 表彰に際して受領しなかった場合、入賞者に対する賞状等の送付は行わない。
- (4) 各学年種別上位入賞者4名を東北地区強化指定選手として認定。

### 11 審 判 員

- (1) 大会審判団は、（公財）全空連公認全国・地区審判員をもって次により編成する。また、推薦審判員は（定年制65歳以下）とする。
- (2) 各県連は、公認全国・地区A・地区組手審判員6名を選び、4月25日（金）まで大会事務局経由で大会委員長宛て文書をもって推薦する。
- (3) 大会委員長は、各県から推薦され適当と認められたた審判員をもって、大会審判員を委嘱する。  
（注意）各県派遣審判員が5名以下の場合、地区組手審判員資格者で65歳以下の監督は認められません。

### 12 安全対策

- (1) 選手は、本大会前1週間以内に、各自において健康診断を受け、医師の出場許可を得ておくこと。
- (2) 参加選手は各自で、又は団体でスポーツ傷害保険等に加入をしておくこと。

大会実行委員会では、傷害保険等への一括加入は行わない。

- (3) 出場選手が競技中負傷した場合は、主催者において応急処置は施すが、それ以上の責任は負わないのでご了解ください。
- (4) 監督及び選手は健康保険証を携行すること。

### 13 出場資格 1. 参加資格

- (1) 選手は、所属する中学校所在地の都道府県中学校空手道連盟または都道府県空手道連盟を通して、公益財団法人全日本空手道連盟に登録している会員であり、公益財団法人全日本空手道連盟公認段級位を保有していること。
- (2) 監督は、「当該中学校の教員及び校長が認める指導者」、若しくは「(公財)全日本空手道連盟に登録している会員で、(公財)日本スポーツ協会公認空手道コーチ1以上、または県組手審判員以上の資格を有する者」であること。  
監督(注意:20歳未満の監督は認めない)

\*監督の資格確認の為、会員書の提示を求める場合がありますのでご了承ください。

### 14 組合せ抽選 (1)実行委員会において厳正に行う。

- ### 15 出場申込
- (1) 出場費は 個人一種目3,000円、団体一種目5,000円とする。
  - (2) 別途定める出場申込書を県連事務局に提出すること。
  - (3) 申込書の送付及び出場費送金先(口座)は次のとおり。
  - (4) 県連事務局が取り纏め大会事務局に一括申込み。  
**\*個人での申込みは受付しません**

◆出場費は必ず県連事務局から一括して振り込むこと。

◆参加申し込み後の返金は致しません。

### 16 申込期限

### 17 宿泊等・弁当 各県連・各道場・学校で対応願います。

### 18 その他

- (1) 出場申込書提出後の選手変更は認めない。
- (2) 各コートの受付時間に間に合わない場合は、参加できないので注意すること。
- (3) 当日は、大会会場の都合により練習会場の確保が出来ないので、前もって周知徹底してください。
- (4) 参加各県は必ず引率責任者を配置し、出場選手の掌握、荷物の管理等に当たらせ、円滑な大会運営と事故防止に協力してください。
- (5) 令和6年度(公財)全日本空手道連盟強化選手選考会(組手・形)ジュニアカデット東北地区選考会参加有資格者の選考も兼ねている。